

福祉の夜明けを告げるまち
浦賀



福祉だより

う ら が

発行所

浦賀地区社会福祉協議会

編集/広報部会

横須賀市東浦賀1-1-10

TEL.046-844-0294

印刷所

株式会社 アド・ワークス



拝殿に向かって左側の狛犬



神社と社叢林

東叶神社

浦賀の港をはさんで、東と西に叶神社が向かい合っています。東叶神社は、明治になるまで横浜市金沢区から三浦半島全域の本山格の寺格をもった修験道の寺で、裏山の明神山の山頂では火渡り修行などが行われていたそうです。

まず社務所の前を通り過ぎ、山際に向かって歩きますと、鳥居の奥に祠が見えます。祠の中には、海難事故などの際に身代わりとなって人々を救ってくれたという「身代わり弁天」が祀られています。また、鳥居の右手奥には、勝海舟が咸臨丸で太平洋を横断する際、安全祈願のため水垢離をしたといわれる井戸があります。

いよいよ拝殿に向かって正面の石段を上りきると、左右一対の狛犬が迎えてくれます。この狛犬は両方とも口を結んだ吡形で、子犬にお乳を飲ませていたり、背に子犬を乗せて戯れていたりと育児に愛情を注いでいるとても微笑ましい姿をしています。西叶神社の狛犬がいずれも口を開けている阿行のように見えることから、東西で一対となっているとの説もあります。

拝殿から奥の院に上る石段は、二百二十三段程あり、中段までを恵仁志坂と呼び、中段より頂上に上る坂を産霊坂と呼び「縁（えにし）」があつて「結ばれ」て願いが叶う、と縁結びの坂になっているようです。時折、この坂を訪れるカップルもいるようです。

山頂には戦国時代、三浦半島防備のため築城された浦賀城がありました。今はその面影は何もありません。正面に奥宮があり、左手に「勝海舟断食の場」の標柱が立っています。右手奥には、浦賀ドックで殉職された人々の慰霊塔があります。

この山一体が自然林として、特にウバメガシの自生は、ここが分布の北限とされ「県指定天然記念物・叶神社の社叢林」となっています。

(広報部会 赤穂)